

第1回 若手教員自主研修会

5月2日（金）に、若手教員自主研修会を開催しました。本研修会は、小中学校1～4年次教員（希望者※上記以外の小中学校教員も参加可）を対象とした今年度新設した研修会です。第1回目は、滑川市教育委員会 教育長 上田良美先生を講師にお招きしました。20名の教員が参加しました。

【チェック・イン】

担当学年や最近の学校で出来事を紹介し合いました。

- ・子供が「先生～」と帰りに声をかけてくれた。
- ・休み時間に子供と鬼ごっこをして楽しんだ。
- ・サッカーのことで子供と会話が弾んだ。

など、嬉しかった・楽しかった出来事を紹介し合い、温かな雰囲気での研修会がスタートしました。



「チェック・イン」

【バースデーチェーン】

言葉を出さず誕生日順に並びます。講師からの「何分で並べそう？」に対して「3分！」と参加者。さあスタート。なんと約1分で正しく並び終わりました。目を合わせたり、ジャスチャーを交えたりすることで、場の雰囲気が和らぎました。



「バースデーチェーン」

【ロールプレイ】

「4人で金沢旅行を計画中」という場面を想定し、人間関係のやり取りを模擬体験しました。「何を言っても称賛される人」「何を言っても反対される人」などの役があります。他者の役は分かりますが、自分自身の役は最後まで分かりません。

「何を言っても称賛される人」

体験中の発言

- ・金沢カレー、食べようよ。

いいね！

体験後の感想

- ・みんな賛同してくれるから嬉しいけれど、反対されている人もいるから、このメンバーで旅行に行きたいとは思えない。

「何を言っても反対される人」

体験中の発言

- ・有名な金箔の見学に行こうよ。

え～！

体験後の感想

- ・一人で旅行に行きたいと感じた。



ワーク「ロールプレイ」

ロールプレイを通して、他者を受け入れない関係では安心して過ごすことができないことを体感しました。講師からは、教室においても同じことが言えるとお話がありました。つまり、発言や人間関係に優劣が生まれているような環境では、子供たちは安心して過ごすことはできないということです。その際、「ラベリング」「心理的安全性」の二つのキーワードを用いて説明くださいました。

【チェック・アウト】

本日の感想を伝え合いました。

- ・今後、この子はこういう子だという決めつけは気を付けたい。
- ・子供一人一人のよさを見付け認められる教員でありたい。

など、本日の学びを振り返りました。

次回は7月1日を予定しています。

多くの先生方の参加をお待ちしております。



「チェック・アウト」

受講者の感想

感 想
学級経営を見直したいと思った。
子供に対する教師の対応の仕方や言葉がけが、その様子を見ている周りの子供たちに大きな影響を与えるため、子供たちに負のラベリングを貼らないように意識して関わっていききたい。
グループワークや実践を通して、学級経営や生徒指導について深く考えることができた。
とても和やかな雰囲気での研修で、こんな温かい学級になったら良いなと感じた。温かい学級にするためには、心理的安心感や間違えても否定しない雰囲気などを作っていく必要があると感じた。
研修会を通して、自分自身が子どもの立場で物事を捉えられているかを振り返る場になった。このような振り返りを日頃から定期的に行うことで、子ども達の困り感や成長を捉えられたら、と考えている。
・滑川市内で1～4年次で若い先生方が多いことに驚いた。 ・今回の研修で知ることが出来たラベリングや心理的安全性について気を付けながら生徒と接してみようと思った。
他校の先生方と楽しく活動でき、とても有意義な時間だった。そして、教育長の話を聞きことができる貴重な時間だった。年度が始まったばかりだからこそ必要な内容だったので、今後に生かしていきたい。
研修を通して実際に体験しながら、子供たちへの関わり方について学ぶことができ、とても有意義な時間だった。
話がメインの研修会で興味深く参加することができた。
楽しかった。ありがとうございました。
貴重な機会を用意していただき、ありがとうございました。学んだことを実践して、子供たちが生き生きとした学級経営を行おうと思う。
第2回目も参加したいなと思った。ありがとうございました。